



やさしいところ (思いやり Caring)

正直なところ (誠実さ Honesty)

がんばるところ (責任感 Responsibility)

大切に思うところ (尊敬心 Respect)

2017年6月1日
 幼保連携型認定こども園
 YMCA 保育園

6月えんだより

6月の聖句： 「これは主の御業 わたしたちの目には驚くべきこと」

詩編 118 編 23 節

初夏を感じる季節となりました。子どもたちは園の生活に慣れ、興味や関心が外の世界に向きはじめ、園庭や外遊びで咲く花、生き物にも関心をもち、又お友だちとの関わりも深く、そしてひろがる時期となりました。

子ども達の育ちを見ますと、毎年思うことなのですが、一人ひとり違った歩みのなかで育ち、関心事も性格も異なることに、改めて気づかされます。兄弟姉妹なのに、全然違うと感じる保護者の方も少なくないかと思えます。自然を見ますと季節の移り変わりと共に葉を開き、色づき、芽を出し、花を咲かせ、実をならせる一つ一つの木々も、大人からすると当たり前と思うことが、見方を変えれば、こんな不思議なことは無いとも感じられるのです。この不思議な出来事に幼い子ども達は、一つ一つ感心して興味をもつのではないかと思えます。

そうしますと、私達が、世に命を与えられたことも、たくさんの人々や自然に恵まれた中で生き、生かされていることも「奇跡の日々の連続」の中にいると捉えられます。イエスが聖書の中で「明日のことまで思い悩むな」「その日の苦労は、その日だけで十分である」(マタイ 6:34)と言われた意味が理解できます。「今日」と言う日を、与えてくださり、自分の力だけではなく、むしろ神の愛と多くの人々の支えによって過ごすことは、喜ぶべきことであるというのです。

私達は、見えない将来に期待をし、又不安を抱いたりもします。見えないことは信じがたく、見えることに安心したりします。毎日の日々を、神様がとりなしてくださる豊かな恵みの日々と捉え、「今日」を大切に「今」を大切に子ども達と喜びを持って過ごし、当然と思うことに、感謝の思いを抱く日々を過ごしたいと願います。

年主題 「愛されて育つ」

年主題聖句 「あなたがたは神に愛されている子どもです。」

エフェソの信徒への手紙 第5章 1節

6月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おもしろい	動き出す
月の願い	*保育者や身近な友だちと好きな遊びを見つける。 *まわりの物を見たり触れたりして喜ぶ。	*神様の創られた自然の不思議さに目を向ける。 *遊びを楽しむ中で自分の気持ちを伝えようとする。 *友だちや保育者の言動、遊びに心を動かす
讚美歌	ひとりひとりの名をよんで 幼児賛美歌Ⅱ 20	虹の架け橋 川上 盾 牧師作詞 作曲